

令和6年度第1回 酒田市男女共同参画・女性活躍推進懇話会提案等に対する対応状況一覧

項目	第1回懇話会提案等	検討経過	予算要求状況	担当課
企業・働き方に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・市内には魅力的な企業がたくさんあるので、女子中高生向けオフィスツアーを実施してはどうか。高校での全生徒を対象とした講座も大事だと思うが、関心の高い若者にターゲットを絞ることで、地元定着につながるのではないかと。 	<p>【継続事業で対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度には学校単位にとられない企業見学バスツアーの実施を検討している。既存事業の枠組みの中で、意欲のある方が誰でも参加できるようなツアーを実施するなどにより対応していく。 	継続要求	商工港湾課
	<p>【えるぼし認定に関して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定に対するインセンティブの創出が必要ではないか。 ・市民・経営者・企業に対する一層の周知が必要ではないか。 	<p>【継続事業で対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・えるぼし認定に向けた申請については、一般事業主行動計画の策定が必須要件となっているため、奨励金を用意して支援している。また、市民に対し、えるぼし認定の認知度を高めていく。 ・えるぼし認定の周知に関しては、令和7年2月に市役所1階フリースペースにおいて、えるぼし認定のことを含めたパネル展を実施する。また、同月20日には、一般事業所の総務・人事担当者向けに、えるぼし認定企業見学バスツアーを実施する。令和7年度も継続して実施を検討していく。 	継続要求	
	<p>【育児休業に関して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育休を取らせる側の企業に対する支援策も作るべきではないか。 ・男性の育休を当たり前とするために、企業と上司、経営者の理解と声掛け、セミナーの開催が必要ではないか。 	<p>【継続事業で対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既にある支援策として、一般事業主行動計画策定奨励金のメニューに、男性の育児休業取得に関するものを用意している。 ・育休支援に関しては、国が実施する出生児育児休業給付金もあり、これらの取得において事業主には、上司や同僚からのハラスメントを防止する措置を講ずることが義務付けられている。 	継続要求	
	<ul style="list-style-type: none"> ・働く人と企業のどちらもメリットを感じることができる新規事業が必要ではないか。 	<p>【継続事業で対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度の新規事業は起こしていないが、既に実施している一般事業主行動計画策定奨励金の周知・活用に努めていく。 	継続要求	

令和6年度第1回 酒田市男女共同参画・女性活躍推進懇話会提案等に対する対応状況一覧

項目	第1回懇話会提案等	検討経過	予算要求状況	担当課
男女共同参画に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・アンコン、ジェンダー等のセミナーを小中学校で開催できないか。 ・仕事、経済やアンコンシヤス・バイアス等に関し、小学校など低学年からの教育が必要ではないか。 ・”アンコン部”のようなものを作り、いろいろなクレームや対応、言い方をかえる等の一覧を下敷きやゴミ出しカレンダーの一部に記載するなど、角を立てずに世の中を変える方向に向かうと良いのではないか。 	<p>【既存事業で実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度の出前講座において、男女共同参画推進員や職員を講師として派遣し、希望するテーマ・内容に沿って、分かりやすくお伝えし、学びをお手伝いする。 ・自治会・コミュニティ振興会・老人クラブでの勉強会、企業・事業所等の研修会や勉強会、小中学校における講座等として活用が可能。 ・出前講座テーマ例として、「身近にある思い込みって！？～ジェンダーカードで楽しもう」など、カードに記載の質問事項に対する自分の考えや疑問、感じたことを参加者同士で話し合い、アンコンやジェンダーの問題を考えるきっかけにすることも可能。 	継続要求	共生社会課
	<ul style="list-style-type: none"> ・孫育て楽々講座（仮）の中で、（アンコンに関する）若い世代が辛い、心折れるワードやフレーズを伝える事業を開催してみるのも良いのではないか。 ・年配の方のアンコン的な言い方が子どもに受け入れられなくなっているの、地域へのセミナー・講座の開催が必要ではないか。 ・各コミセンでの出前講座において、男女共同参画の啓発を行い、意識改革に繋げる必要があるのではないか。 			

令和6年度第1回 酒田市男女共同参画・女性活躍推進懇話会提案等に対する対応状況一覧

項目	第1回懇話会提案等	検討経過	予算要求状況	担当課
子育てに関して	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを預かる場所（学童・休日保育）の充実が求められている。より市民等のニーズに耳を傾ける必要があるのではないか。 ・ファミリー・サポート・センターの最初の利用のハードルを下げる必要があるのではないか。 	<p>【継続事業で対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学童は、定員増などにより令和2年度は1,253人、令和6年度は1,303人まで受け入れ人数を増やした。 ・更なる待機児童解消のため、待機者を対象に余裕のある学童の利用希望を確認したところ、全員が他学童の利用には否定的であった。小学校の空き教室、コミセンなどを活用し同一学区での保育を検討する。 ・休日保育については、令和3年4月から日曜・祝日・年末年始を対象に実施している。令和6年度は12月末現在10名の登録があり、利用実績は延べ36名である。 ・ファミリー・サポート・センターの初回利用時における「ミニ研修」や「マッチング」に関しては、制度の理解や注意点・要望等の共有とともに、子どもの安全確保の面から、欠かせないものとなっている。 	継続要求	保育こども園課
	<ul style="list-style-type: none"> ・明石市の子育て支援モデル（所得制限なしの保育支援無料化）を酒田市でも取り組めないか。 	<p>【ご提案どおり実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市では、既に高校3年生までの子どもにかかる医療費を無料としているほか、第2子にかかる保育料についても、第1子にかかる保育料の3分の1の負担額としている。 ・保護者の保育料負担の軽減化という面では、一部の所得階層世帯（約640万未満世帯）で負担する第1子の保育料を、令和7年度より国基準保育料の半額にするなど、保育料完全無償化に向けた取組を山形県と連携して進めている。 	新規要求	保育こども園課
意識啓発・セミナーに関して	<ul style="list-style-type: none"> ・意識啓発を楽しめるイベント的な企画ができれば良いのではないか。 ・セミナー以外にも、広く市民参加型の事業をもっと増やした方が良いのではないか。 ・セミナーに参加しない人への意識づけをどうするかが課題ではないか。 ・PR方法の検討が必要ではないか。 ・各種セミナーに、夫婦・パートナーとの参加が必要ではないか。 ・LGBTの人も住みやすい場所に。 	<p>【ご提案どおり実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化政策課からの協力要請により、性的マイノリティ（LGBTQ+）をテーマとする高校生の演劇公演と組み合わせるイベントとして、男女共同参画をテーマとする講演会とパネル展示を実施し、2課連携して市文化芸術の振興と男女共同参画社会の実現を図る機会を創出する。 ・LGBTQ+に関する高校生とのトークセッションの講師兼演劇監修者として、当事者をウィズ登録団体関係者より推薦する。 ・ジェンダーをテーマとする講演講師を招聘し、演劇公演との組み合わせにより多数の聴衆（集客）を目指す。 	新規要求	共生社会課

令和6年度第1回 酒田市男女共同参画・女性活躍推進懇話会提案等に対する対応状況一覧

項目	第1回懇話会提案等	検討経過	予算要求状況	担当課
家事に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・家事代行サービスを普及させて、気軽に利用できたら良いのではないかと。 ・家事代行サービスを周知し、一般利用のハードルを下げる仕組みが必要ではないかと。 ・転入時などに、家事代行サービス一覧の情報提供も必要ではないかと。 ・家事シェアは、家庭で話し合えるきっかけ作りができれば◎。 ・家庭内の役割分担表をもっと配る必要があるのではないかと。 ・家事役割分担は理解が進んでいても、実践できていない。一歩踏み込んだ仕掛けも必要ではないかと。 	<p>【ご提案どおり実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「家族みんなが笑顔になる『家事シェア』のススメ」の在庫数の減により、内容を改訂し、理想的な家事をパートナーと話し合うきっかけに資する「家事・育児シェアチェックシート」として1,000部を作成する。 ・本パンフレットに、家事代行サービスに関する情報提供欄を追加し、市内の家事代行サービス事業者の周知を図る。 ・市ホームページに家事代行サービス一覧の情報を掲載する。 	新規要求	共生社会課
教育に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・美術館などの公共施設の利用無料化の実現（学ぶ機会の平等化）が出来たら良いのではないかと。 ・「弁当の日」「いただきます」等の食育に関するドキュメンタリー映画を市内全小中学校で上映してみても良いのではないかと。 （以下、再掲：男女共同参画共通） ・アンコン、ジェンダー等のセミナーを小中学校で開催してほしい。 ・アンコン下敷きの作成も良いのではないかと（例：言い方に気を付けよう等）。 ・仕事、経済やアンコンシャス・バイアス等に関し、小学校など低年齢からの教育が必要ではないかと。 	<p>【継続事業で対応】</p> <p><学校における食育の推進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭等が栄養巡回指導を実施し、継続して食育に取り組んでいる。 ・「心を育む学校給食週間」に、各校で調理員さんへの感謝の手紙を書いたり、児童会主催の特別な取り組みを計画・実施したりし、食に関わる人や食材に対する感謝の気持ちを育てている。 <p><学校における人権教育、男女共同参画の推進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校低学年から、生活科や道徳などの教科の他、学級活動など教育活動全体を通じて人権学習にかかる学びを行っている。 ・小中学校共に、道徳や家庭科、保健体育などの中で、発達段階に応じて男女共同参画について学んでいる。 	要求無し	学校教育課